

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和5年第38週の発生動向

### □ トピックス

・インフルエンザ(定点把握対象の疾患)

第38週 (9/18~9/24) の定点当たりの報告数が14.0と、今シーズン初めて流行注意報レベル基準値(10)を超えた。例年と比較して最も早い時期での基準値超えとなった。詳細後述。

### □ 全数報告の感染症 (38 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。

4 類感染症：日本紅斑熱 1 例、レジオネラ症 2 例。5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	肺結核	なし
			90歳代	男	結核性胸膜炎	痰、呼吸困難
		日向	60歳代	女	腸結核	なし
4類	日本紅斑熱	都城	70歳代	女	—	発熱、発疹
	レジオネラ症	宮崎市	60歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎
		高鍋	70歳代	男	肺炎型	発熱、肺炎、下肢脱力
5類	アメーバ赤痢	都城	60歳代	男	腸管外アメーバ症	腹痛、発熱、肝腫大、肝膿瘍、大腸粘膜異常所見
	梅毒	延岡	20歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,812 人(定点当たり 35.2)で、前週比 89%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び手足口病であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 647 人(11.2)で、前週比 66%と減少した。都城(17.8)、中央(15.5)、高鍋(12.5)保健所の報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

##### 【インフルエンザ】

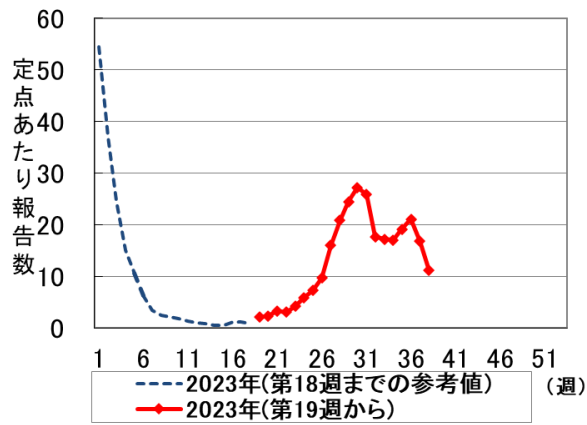
報告数は 812 人(14.0)で、前週比 165%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.25)の約 55.9 倍であった。宮崎市(23.4)、日南(17.6)、中央(16.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

##### 【手足口病】

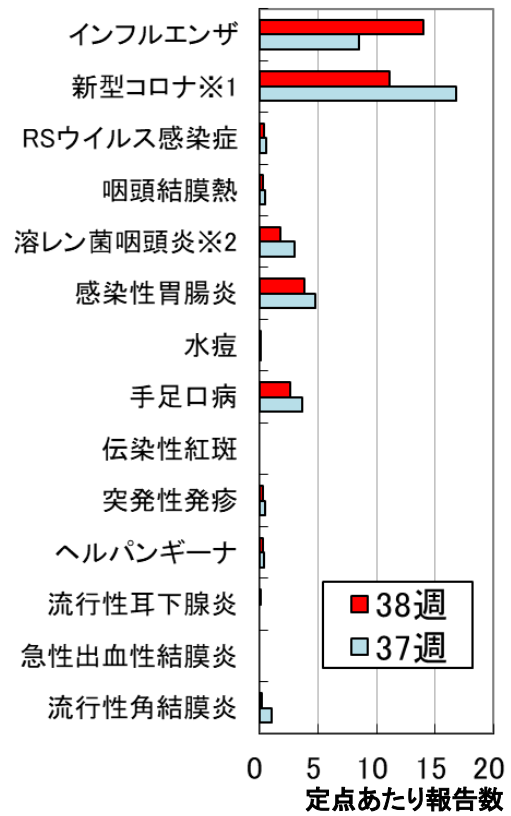
報告数は 96 人(2.7)で、前週比 73%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.5)の約 1.7 倍であった。高千穂(7.0)、宮崎市(4.7)、小林(4.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 4 歳が全体の約 8 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

新型コロナウイルス感染症 発生状況

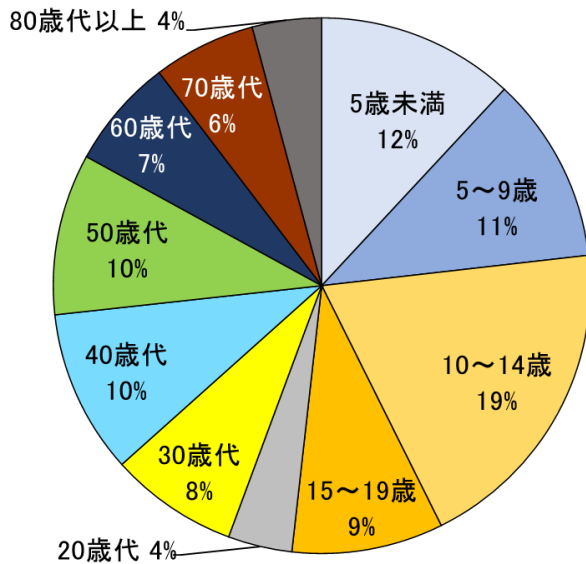


《前週との比較》



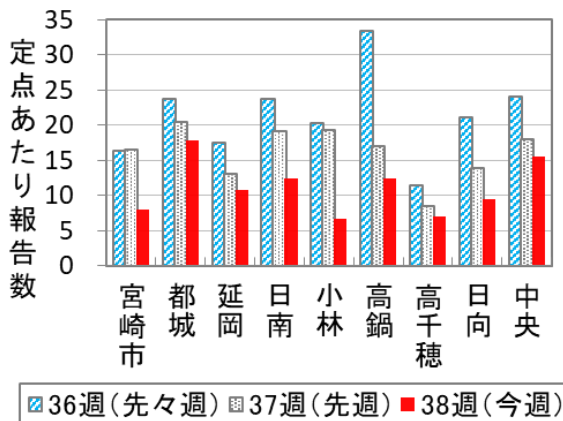
※1 新型コロナウイルス感染症  
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第38週)

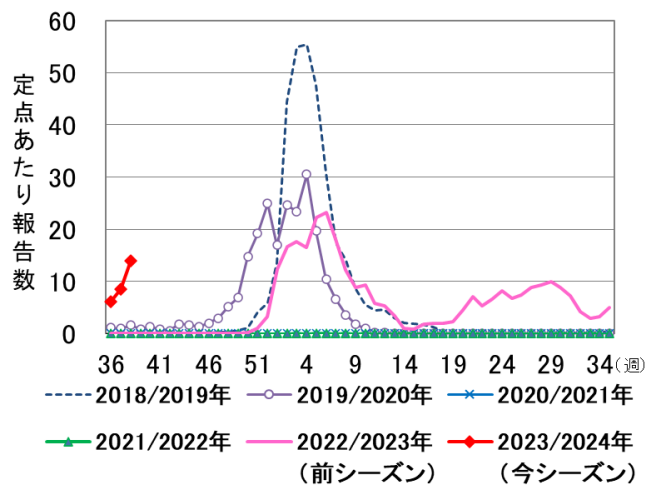


※新型コロナウイルス感染症の第1週~第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

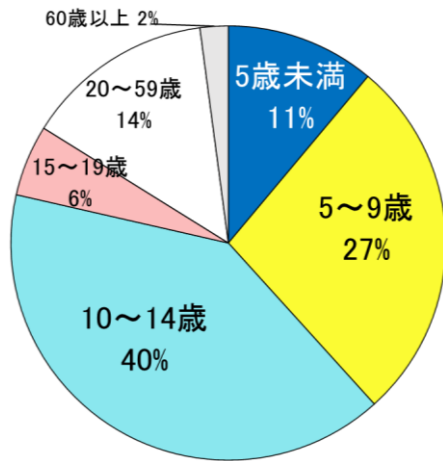
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



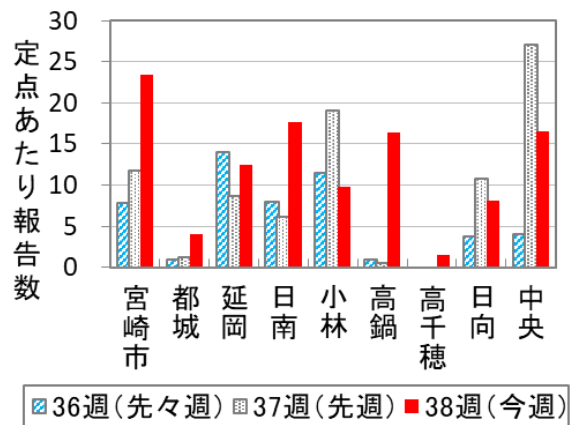
インフルエンザ 発生状況



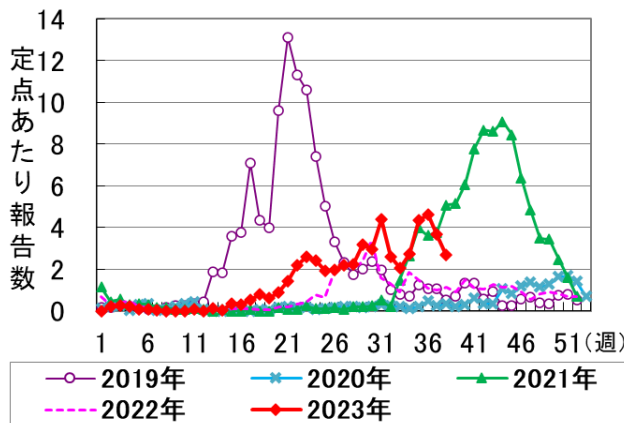
インフルエンザ年齢群別グラフ(第38週)



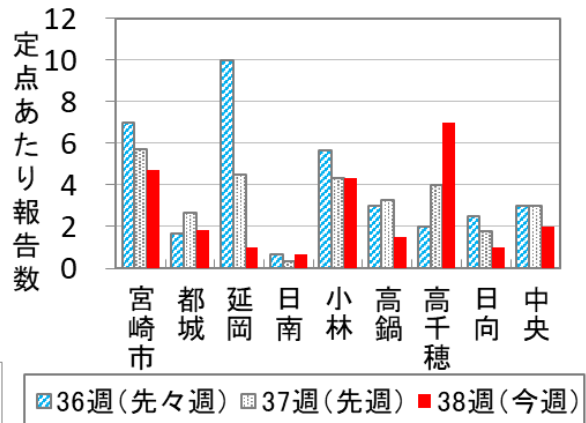
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：日向保健所から1例報告があった。年齢は10歳代であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(23.4)
都城	なし
延岡	インフルエンザ(12.4)
日南	インフルエンザ(17.6)
小林	なし
高鍋	インフルエンザ(16.3)
高千穂	手足口病(7.0)
日向	なし
中央	インフルエンザ(16.5)

\*流行警報レベル開始基準値\*

・手足口病(5)

\*流行注意報レベル基準値\*

・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和5年9月25日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	0～4歳	男	2023.08.31	発熱(38.8℃)、胃腸炎(水様性下痢)	便	2023.09.07
EPEC(O9:HUT)	5～9歳	男	2023.09.01	発熱(40.0℃)、胃腸炎(水様性下痢)	便	2023.09.12
EPEC(O9:HUT)	10歳代	女	2023.09.01	発熱(39.0℃)、胃腸炎(水様性下痢)	便	2023.09.12
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	5～9歳	男	2023.09.11	発熱(38.4℃)、胃腸炎(水様性下痢)	便	2023.09.15
EHEC(O157:HNM VT1,2)	10歳代	男	2023.09.13	発熱、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)、頭痛	便	2023.09.20

○10歳代の男性から腸管出血性大腸菌（EHEC O157:HNM VT1, 2）が検出された。腸管出血性大腸菌は経口感染し、少ない菌量でも家族や保育園等の集団で感染が広がるため、食材の加熱、調理器具の消毒、手洗い等を徹底する必要がある。腸管出血性大腸菌による感染症は夏季に増加する傾向にあるが、例年秋から冬にかけても発生しており今後も注意が必要である。

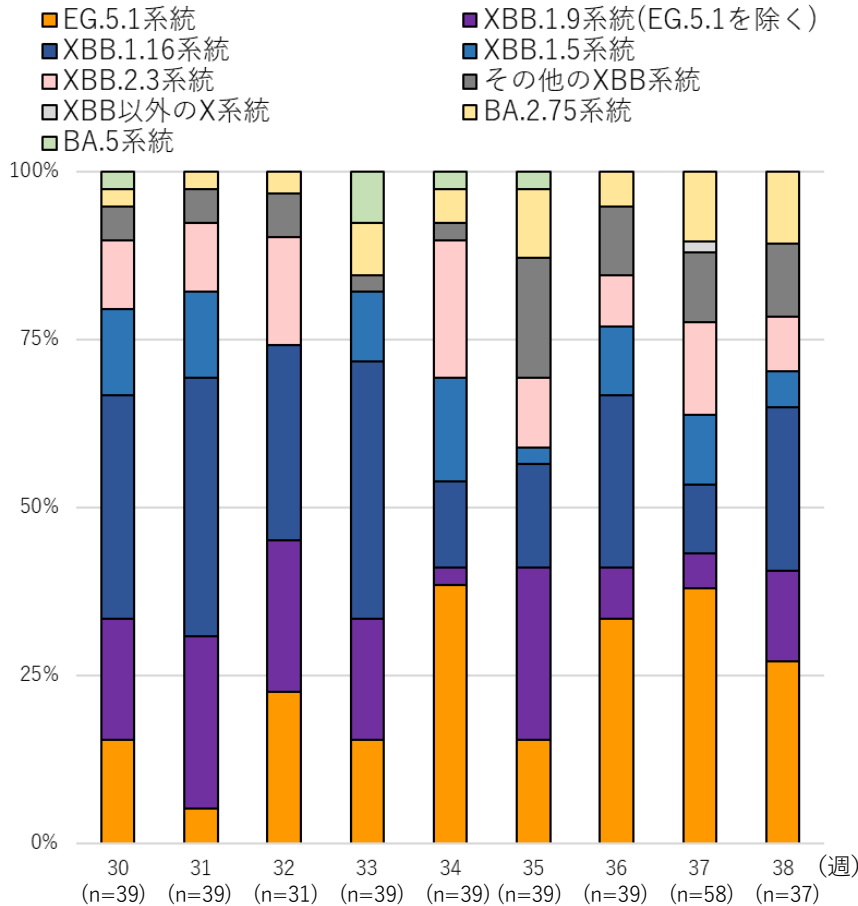
★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Adeno virus 1	0～4歳	女	2023.08.07	急性気管支炎、39.1℃	鼻汁	2023.09.20
Influenza virus AH1pdm09	10歳代	男	2023.08.16	A型インフルエンザ、37.7℃	鼻腔ぬぐい液	2023.09.22
SARS-CoV-2	0～4歳	男	2023.08.21	COVID-19感染症、38.6℃、 下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2023.09.15
Influenza virus AH3	5～9歳	女	2023.08.22	A型インフルエンザ、38.7℃	咽頭ぬぐい液	2023.09.22
Influenza virus AH3	0～4歳	男	2023.08.28	A型インフルエンザ、40.5℃、上気道炎、 下気道炎(気管支炎)、胃腸炎、腹痛	鼻汁	2023.09.22

○インフルエンザと診断された小児1名から、インフルエンザウイルス AH1pdm09 が分離された。当所での2022/2023シーズンにおけるインフルエンザウイルス分離検出件数は、インフルエンザウイルス AH3 が62件、インフルエンザウイルス AH1pdm09 が1件、インフルエンザウイルス B(ビクトリア系統)が2件となっている。

## □新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

### 新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



XBB 系統は第 38 週で約 89%を占め、EG. 5. 1 系統（XBB. 1. 9. 2 の子孫株）が約 27%を占めた。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBB は BJ. 1（BA. 2. 10. 1 系統）／BM. 1. 1. 1（BA. 2. 75. 3 系統）の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

## 🇯🇵 全国 2023 年第 37 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	239 例			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	120 例	腸チフス	1 例	パラチフス
	E型肝炎	4 例	A型肝炎	1 例	エムボックス
4類感染症	回帰熱	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱
	日本紅斑熱	13 例	マラリア	3 例	レジオネラ症
	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症
5類感染症	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	4 例	クリプトスポリジウム症
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例	後天性免疫不全症候群
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性肺炎球菌感染症	20 例	水痘(入院例)
	梅毒	171 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風
	百日咳	18 例			

## □ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 101%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、伝染性紅斑及びヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は34,665人(7.0)で前週比157%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.23)の約30.0倍であった。沖縄県(20.9)、千葉県(14.5)、愛媛県(12.1)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約7割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は86,510人(17.5)で前週比87%と減少した。埼玉県(25.0)、千葉県(24.0)、宮城県(22.8)からの報告が多く、年齢群別では20歳未満が全体の約半数を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第38週(09月18日～09月24日)

疾病名		第37週	第38週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	491	812	375	40	87	88	39	98	3	49	33
	定点当り	8.47	14.00	23.44	4.00	12.43	17.60	9.75	16.33	1.50	8.17	16.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	973	647	128	178	75	62	27	75	14	57	31
	定点当り	16.78	11.16	8.00	17.80	10.71	12.40	6.75	12.50	7.00	9.50	15.50
RSウイルス感染症	報告数	21	15	4	2	1	4		3	1		
	定点当り	0.58	0.42	0.40	0.33	0.25	1.33	0.00	0.75	1.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	18	10	4	2			3			1	
	定点当り	0.50	0.28	0.40	0.33	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	107	64	14	28	5	4		7		4	2
	定点当り	2.97	1.78	1.40	4.67	1.25	1.33	0.00	1.75	0.00	1.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	173	139	41	25	1	20	26	5	2	12	7
	定点当り	4.81	3.86	4.10	4.17	0.25	6.67	8.67	1.25	2.00	3.00	7.00
水痘	報告数	5	4	1		2		1				
	定点当り	0.14	0.11	0.10	0.00	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	132	96	47	11	4	2	13	6	7	4	2
	定点当り	3.67	2.67	4.70	1.83	1.00	0.67	4.33	1.50	7.00	1.00	2.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	17	12	4	2	1		1	2		2	
	定点当り	0.47	0.33	0.40	0.33	0.25	0.00	0.33	0.50	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	14	10	5	1	3					1	
	定点当り	0.39	0.28	0.50	0.17	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	1	1								
	定点当り	1.00	0.17	0.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		1									1
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～38週保健所受理分)

2類感染症	結核	80例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10例	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	12例	つつが虫病	10例
	レジオネラ症	6例(2)	レプトスピラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例(1)	ウイルス性肝炎	6例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	10例	水痘(入院例)	3例
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	134例(1)
			百日咳	4例

( )内は今週届出分、再掲